

特別区長会調査研究機構 令和8年度調査研究テーマ 及び令和7年度調査研究報告書の発行について

令和8年度調査研究テーマの紹介
2月9日(月)に令和7年度第4回理事会を開催し、4テーマの調査研究を柱とする令和8年度事業計画が決定しました。

各テーマの研究プロジェクトは、区職員のほか学識経験者等で構成され、1年間の調査研究を経て、テーマごとに報告書の作成・公表を行う予定です。

令和8年度 調査研究テーマ	提案区
小中学校の効果的・効率的な施設整備マネジメントの取組	新宿区
特別区における公共用地の着実な取得に向けた手法等に関する調査研究	文京区
行政手続き通知のデジタル化推進のためのガイドラインの検討	墨田区
特別区における市街地再開発事業の必要性和その円滑な実施に向けた支援策に関する調査研究	江東区

令和7年度調査研究報告書の発行

令和7年度に調査研究を実施した3テーマについて、報告書を行い、公表しました。調査研究機構ホームページに掲載するとともに、各区の中心図書館に配布しておりますので是非ご覧ください。

なお、今年7月には、本報告書に基づき成果を発表する調査研究報告会を実施します。今回は、会場での開催に加え、オンラインでの同時配信も予定しています。いずれのテーマも多くの方に共通する課題なので、たくさんの方に参加いただき、今後の区政を考える一助にしたいだけだと思います。過去の調査研究報告会は、当機構のYouTubeチャンネルでご覧いただけます。



令和7年度調査研究報告書
(報告書URL) <https://www.tokyo23-kuchokai-kiko.jp/report/index.html>



機構ホームページ
(報告書URL)



機構YouTube
チャンネル

(特別区長会調査研究機構事務局)

大森彌先生追悼講演会講演録を刊行しました

特別区制度調査会会長、特別区制度懇談会座長を歴任され、特別区の自治の発展に多大なご尽力をいただいた大森彌先生(東京大学名誉教授)が令和5年9月18日に逝去されたことを受け、令和6・7年度にかけて「大森彌先生追悼講演会」(全4回)を左記の特別区制度懇談会委員を講師として開催しました。

講演会では、各講師から大森先生との思い出や先生のお人柄・ご功績の紹介と共にこれからの特別区政への期待や課題などを語っていただきました。

この度、本講演会の内容および公益財団法人特別区協議会が所蔵する大森彌記念文庫の著作目録を収録した書籍を刊行しました。

特別区自治情報・交流センターで閲覧していただけますので、ぜひご覧ください。

【特別区制度懇談会委員】

(登壇者順)

(座長)

東京都立大学大学院法学政治学

研究科・法学部教授

大杉 覚氏

(委員)

東京都立大学大学院法学政治学

研究科・法学部教授

伊藤 正次氏

※(副座長)

東洋大学国際学部教授

沼尾 波子氏

(委員)

東京大学大学院法学政治学研究

科教授

金井 利之氏

※東洋大学国際学部教授沼尾波子氏、法政大学名誉教授岡崎昌之氏、全国町村会経済農林部長小野文明氏との三者による鼎談(ていだん)方式で講演

【特別区自治情報・交流センター の開館時間・休館日】

●開館時間

月曜日から金曜日まで

9時30分から20時30分まで

土曜日

9時30分から17時まで

●休館日

日曜日、祝日、年末年始、その他特別休館日あり



(公益財団法人特別区協議会事業部)